

CASBEE®-建築(新築)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

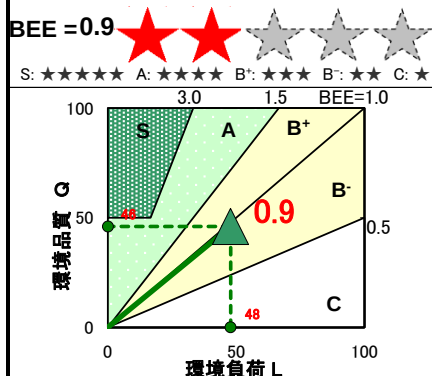
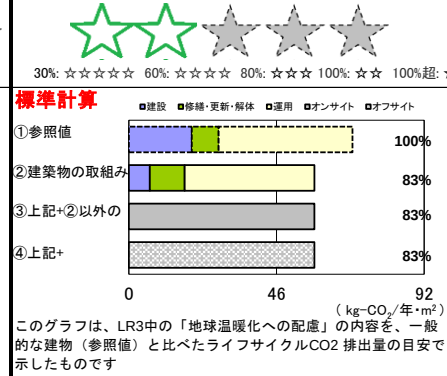
評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)サンクレイドル蘇我ステーション	階数	地上14F
建設地	千葉県千葉市中央区今井一丁目20	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	273 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2022年7月15日
敷地面積	1,395 m ²	作成者	(株)光和設計
建築面積	617 m ²	確認日	2022年7月18日
延床面積	6,430 m ²	確認者	(株)光和設計 渡邊

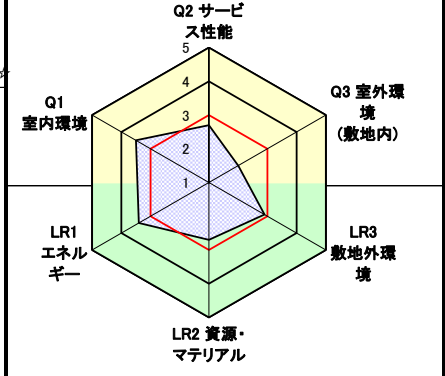
外観パース等

図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

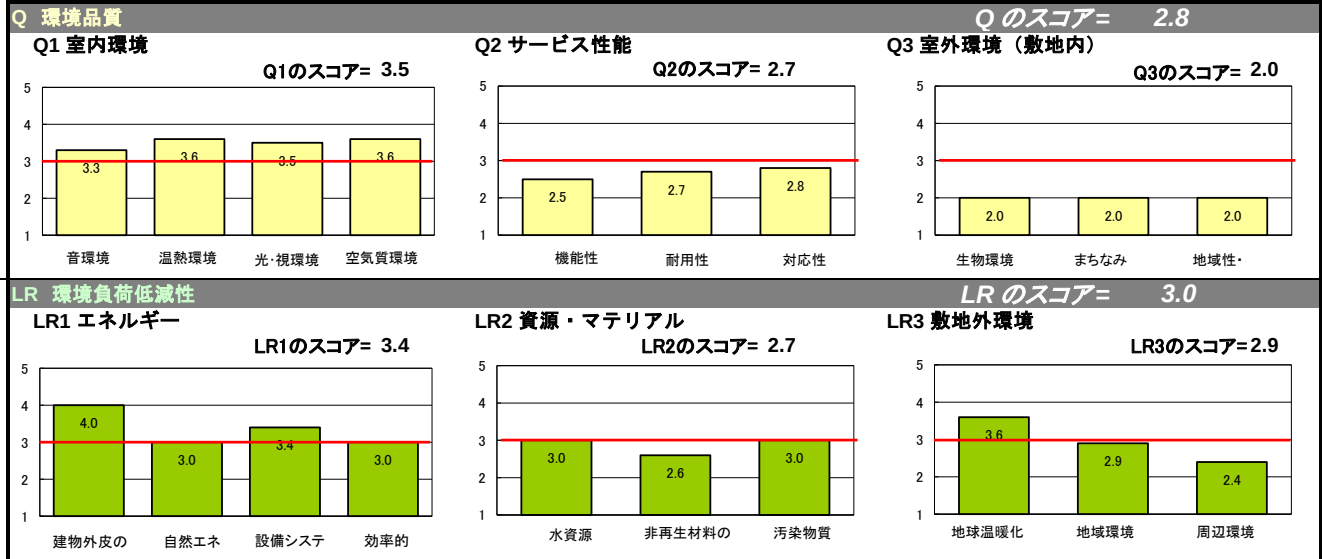
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合	その他
耐久性、設備の更新に考慮した共同住宅を目指しました。	特になし
Q1 室内環境 F☆☆☆☆の建材を使用し、室内環境の向上に努めている。 複層ガラスを採用している。	Q2 サービス性能 外壁はタイル貼(一部)とし、耐久性を確保した。
Q3 室外環境(敷地内) 外構緑化の基準を満たしている。 灌水設備を適正に整備している。	LR1 エネルギー 専有部は有効な採光及び通風を確保した。 LEDを共用部に全て採用している。
LR2 資源・マテリアル 主要水栓に節水コマを使用した。	LR3 敷地外環境 ごみ置場を設置し、ごみ等の分別に強化。 敷地内に駐車場・駐輪場を整備することで、敷地周辺の交通負荷の抑制を考慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される